

## 平成30年度 大阪府アーチェリー連盟 成年国体選手選考方法

- ① 1次選考 — 5月20日 (大阪府民体育大会・50m・30m)
- ② 2次選考 — 6月3日 (国体2次選考会・70mラウンド)  
午前：成年男子 午後：成年女子
- ③ 最終選考 — 6月10日 (国体最終選考会・70mラウンド×2)

### ◎選考方法について

<1>①の50m・30m72射の上位得点で選考する。

ただし、①同日に実施される下記2試合の出場選手については一次選考会を免除することが出来る。

1. 全日本学生アーチェリー連盟主催の西日本大会に出場する選手
2. 平成30年度の全国障がい者スポーツ大会予選会に出場する選手については、その大会の点数を一次選考点数とする。

\* 上記試合に出場し一次選考会の免除を希望する者は、所定の免除申請書を期日までに大阪府アーチェリー連盟までに提出するものとする。

\* 一次選考会免除選手を含めた得点上位の男子24名、女子24名を2次選考通過選手とする。尚、同点が出た場合は10点数の多い者、それも同じ場合はXの多い者を選出する

<2>②の70mラウンド(70m36射×2回)得点の男女上位9名を選出する。尚、同点が出た場合は、①の得点が高い者を選出する。

<3>③の試合では、午前中に70mラウンドを行い、得点上位6名を選出する。午後から70mラウンドを行い、午前の得点と午後の得点を合計した上位3名が近畿ブロック国体の選手となり、4～6位の選手が補欠選手となる。

尚、③の試合で午前に同点が出た場合は②の得点が高い者を、午前・午後の合計に同点が出た場合は午後の得点が高い者をそれぞれ選出する。

<4>当該年度において選考会を経て国際大会に日本代表(Aチーム)として第18回アジア競技大会出場する選手については、国体候補選手に内定とするが、合宿や遠征期間にかからない選考会、本府強化事業には必ず出場、参加することを条件とする。

尚、日程上、上記①・②・③の選考会及び近畿ブロック国体のいずれかに出場できない場合は、1次選考会申込時に強化部に申し出ること。国体選考会及び平成30年度強化部事業等を確認。

<5>近畿ブロック国体の成績により本国体出場が決定した後、国体代表選手が何らかの事情により本国体に出場できない場合は、③の試合午後の部進出選手の中から強化部が選考を行い、これに代わる代表選手を決定する。

<6>その他参加条件：国体選手として大阪府代表選手と決定した選手は、平成30年度大阪府アーチェリー連盟強化部成年強化方針を遵守し大阪府強化事業に参加できること。

※上記以外の場合が生じたときは、強化部で協議・検討する。